

## 第60回 経営協議会 議事要録

日 時 平成29年3月16日（木）13時30分～15時25分

場 所 事務局第二会議室

出席者 澤 和樹 学長、門岡裕一 理事  
日比野克彦 美術学部長、迫 昭嘉 音楽学部長  
桐山孝司 大学院映像研究科長

石田義雄 委員、中村胤夫 委員、遠山敦子 委員  
福井俊彦 委員、高階秀爾 委員、谷口維紹 委員

陪 席 金井 満 監事

安良岡章夫 理事、保科豊巳 理事、国谷裕子 理事  
熊倉純子 大学院国際芸術創造研究科長  
松下 功 副学長  
宮廻正明 社会連携センター長 [学長特命（産学連携担当）]  
三田村有純 グローバルサポートセンター長 [学長特命（国際交流担当及び留学生担当）]  
佐野 靖 学長特命（地域連携・大学連携担当）  
北郷 悟 学長特別補佐（上野文化の杜担当）  
松下 計 附属図書館長、秋元雄史 大学美術館長

欠席者 滝 久雄 委員  
光井 渉 副学長  
岡本美津子 学長特命（広報・ダイバーシティ推進担当）  
梅崎 壽 監事

### 議題

1. 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程の設置について（案）  
議長から標記のことについて提案があり、熊倉大学院国際芸術創造研究科長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 平成29年度予算実施計画（案）について  
議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
3. 平成29年度国立大学法人東京藝術大学年度計画（案）について  
議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

## 報告及び連絡事項

### 1. J R 上野駅公園口の整備について

北郷学長特別補佐より、資料に基づき報告があった。

### 2. その他（本学の取組について）

○ 澤学長から、藝術文化における本学の近況について、資料に基づき報告があった。

（要人来学実績他）

・ 2017. 2. 3：田村明比古観光庁長官が藝大 COI 拠点を視察

・ 2017. 2. 3：芸術総合学校(K-Arts)学長一行による学長表敬

（その他）

・ 2017. 2.21：敦煌研究院と「文化財共同研究に関する覚書」を締結

○ 各学部長・研究科長より今年度に行った主な取り組みと次年度以降のビジョンについて資料に基づき報告があった。

○ 日比野美術学部長より、「Museum Start あいうえの」等の報告があった。

○ 熊倉大学院国際芸術創造研究科長より、「Seize the Uncertain Day - ふたしかなその日」の報告があった。

○ 三田村学長特命から退任挨拶と展覧会の報告があった。

○ 桐山大学院映像研究科長から、「アニメーション専攻第八期生修了制作展」等についての報告があった。

○ 宮廻学長特命から、「ユーラシア研究」についての報告があった。

その他：（各外部委員の先生方からのご助言、ご提言等）

○ 美術・音楽・映像等の専門分野においてそれぞれの動きではなく、分野をどう繋いでいくか、総合的な芸術大学としてのあるべき姿をどう作っていくかの努力をお願いしたい。

○ 各学部・研究科とも限られた予算の中で様々な試みにチャレンジしていることについて、是非実現していただきたい。

○ 附属音楽高等学校のSGH事業を伺い素晴らしく感じた。海外の提携した学校とで落ち着いた教育をしていただきたい。

○ 舞踏関係の分野についてご検討いただきたい。

○ 創立130周年記念事業について、単なる記念式典だけでなく（式典だけでなくとも）、美術・音楽・映像等トータルで藝大らしいパフォーマンスをしていただきたい。

○ 毎年藝大の予算・事業計画はよくできていると思うが、決算处理的思考という考え方を入れていくとより良くなっていくのではないか。

○ 外国の教員・芸術家の招聘の繰り返しについては、状況により無駄となるケースが多い。

○ 藝大が地方の芸術系大学を今後も牽引していただきたい。

○ 国際化・グローバル化において、文部科学省からの数値目標ではなく、質的な国際化が必要ではないか。藝大全体のビジョン（藝大憲章のようなもの）をご検討いただきたい。